

家庭における新型コロナウイルス感染防止対策について

I ウイルスを家庭に持ち込まない

1 リスクの高い行動の自粛

- ① 不要不急の外出・感染拡大地域への移動の自粛
- ② 感染防止が徹底されていない感染リスクが高い施設の利用の自粛 等

2 基本的な感染対策の徹底

- ① 感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」（新しい生活様式）の推進
マスクの着用、手洗い、身体的距離の確保、「3密」（密閉、密集、密接）の回避
- ② 感染リスクが高まる「5つの場面」に注意
 - 1) 飲酒を伴う懇親会等
 - 2) 大人数や長時間におよぶ飲食
 - 3) マスクなしでの会話
 - 4) 狭い空間での共同生活
 - 5) 休憩室、喫煙所、更衣室等

II ウイルスを家庭内に広げない

1 「人にうつさない行動」の実施

- 会食など感染リスクの高い行動後、一定期間は、できるだけ家族においても、人との接触に注意するとともに、家庭内でもできるだけ、マスクを着用
- 2 帰宅後、マスクの表面に触れないよう処分し、外した後は、必ず石鹸で手洗い
 - 3 こまめな手洗い、アルコール消毒の実施、定期的な換気や適度な保湿の実施
 - 4 咳や発熱など症状がある場合には、可能な限り、個室の確保や共有スペースの導線の分離など行い、手で触れられる共有部分の消毒を実施

III ウイルスを家庭外に広げない

- 1 毎日の検温実施など家族全員の健康管理を実施
- 2 咳や発熱など症状がある場合には、通勤・通学を含め外出を控え、電話でかかりつけ医等に相談
- 3 家族に症状がある人やPCR 検査を受けている人がいる場合などには、勤務先や学校等に連絡のうえ、出勤や登校を自粛
- 4 家族が感染した場合は、保健所の指導に従い検査を受検するとともに、家庭内感染に注意し、健康観察中は外出を自粛
- 5 家庭内感染が急増しており、健康状態に特に問題がなくとも、家庭から職場・学校・施設へのウイルス持ち込みによるクラスターを発生させないなど、感染防止対策の徹底